

日本鋼管福山病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。また、研究への拒否の意思を表明されても、いかなる場合でも不利益を被ることはありません。

研究課題名 (承認番号)	変形性膝関節症に対する膝関節周囲骨切り術の術後成績（2019-14）
当院の研究責任者 (所属・職位)	高原 康弘（整形外科・整形外科長、下肢関節外科センター長）
研究分担者 他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
研究の目的	膝関節周囲骨切り術は変形性膝関節症に対して有用な治療方法です。強固な固定が出来るロッキングプレートの開発に伴い、近年その治療法が見直され、手術件数が増加しています。また様々な手術方法・インプラントの発展に伴い、様々な骨切り方法が開発され、症例毎に適切と思われる骨切り方法が用いられるようになってきました。しかしその長期成績や新しい手術方法の術後成績は報告が少なく、本研究にて日本鋼管福山病院で行った膝関節周囲骨切り術の術後成績を明らかにします。
調査データ 該当期間	2010 年 1 月～2027 年 3 月の間に変形性膝関節症に対して膝関節周囲骨切り術を受けられた患者様の診療情報
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 2010 年 1 月～2027 年 3 月の間に変形性膝関節症に対して膝関節周囲骨切り術を受けられた患者様 ●利用する情報 ・治療方法、臨床症状、画像所見、術中所見など
試料/情報の他の研究 機関への提供および 提供方法	当院のみの研究であり、他の研究機関への試料/情報の提供は行いません。
個人情報の取り扱い	調査情報は、日本鋼管福山病院医局で研究責任者が厳重に取り扱います。データ処理には、パスワードで制御されたコンピューターを使用します。また、データ分析時には個人を特定できないよう匿名化して処理を行います。研究結果は匿名化したうえで関連学会での発表を行う予定です。
研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究参加拒否期限	2027 年 3 月 31 日
お問い合わせ先	所属・職位：整形外科・整形外科部長、下肢関節外科センター長、スポーツ整形外科部長 担当者：高原 康弘 電話：084-945-3106（代表）
備考	2021 年 6 月更新、2022 年 3 月更新